

2018年第1四半期 連結決算概要 (IFRS)

中外製薬株式会社
上席執行役員 CFO
板垣 利明

2018.4.24



将来見通し

本プレゼンテーションには、中外製薬の事業及び展望に関する将来見通しが含まれていますが、いずれも、既存の情報や様々な動向についての中外製薬による現時点での分析を反映しています。

実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により現在の見通しと異なることもあります。

注:

- ・ 本資料の数値は億円未満を四捨五入して表示。増減、%は億円単位で表示された数字で計算
- ・ 2017年第2四半期決算より、本資料の増減金額の表記を以下の通り変更しています。

- ① マイナス表記を「▲」から「△」に変更
- ② 収益及び原価・費用の増減は、増益方向を「+」、減益方向を「△」で表示
- ③ 増減率は金額の「増」「減」をそれぞれ「+」「△」で表示



2018年第1四半期 連結業績サマリー

■ 売上収益 1,474億円(前年同期比 +219億円,+17.5%)

- 国内製商品(タミフルを除く):主力品は引き続き伸長したものの、全体では微減
(同 △6億円, △0.7%)
- 海外製商品:アクテムラのロシュ向け輸出の増加等
(同 +63億円, +24.6%)
- ロイヤルティ及びその他の営業収入:長期収載品の譲渡に伴う一時的な収入等
(同 +154億円,+211.0%)

■ 原価・経費(Coreベース)

- 売上原価:為替影響等により製商品原価率が改善
(同 △0.7ポイント:51.6%→50.9%)
- 経費:研究開発費の増加を主要因とし、経費全体で増加
(同 △32億円, +8.4%)

■ 損益

- IFRS実績:

営業利益	384億円	(同 +121億円,	+46.0%)
四半期利益	282億円	(同 +95億円,	+50.8%)
- Core実績:

営業利益	428億円	(同 +161億円,	+60.3%)
四半期利益	312億円	(同 +123億円,	+65.1%)
EPS	56.52円	(同 +22.30円,	+65.2%)



IFRS実績及びCore実績 1-3月実績

【億円】	IFRS実績	Non-Core調整		Core実績
	2018年 1-3月	無形資産	その他	2018年 1-3月
売上収益	1,474			1,474
製商品売上高	1,247			1,247
ロイヤルティ及び その他の営業収入	227			227
売上原価	△ 638	+3		△ 635
売上総利益	836	+3		839
経費計	△ 452	+41		△ 411
販売費	△ 159			△ 159
研究開発費	△ 251	+41		△ 209
一般管理費等	△ 43			△ 43
営業利益	384	+44		428
金融費用	△ 0			△ 0
その他の金融収入(支出)	△ 1			△ 1
その他の費用	△ 6			△ 6
税引前四半期利益	377	+44		421
法人所得税	△ 95	△14		△ 109
四半期利益	282	+31		312
当社の株主持分	279	+31		310
非支配持分	3			3

【Non-Core調整】

●無形資産
償却費 : +4億円
減損損失 : +41億円

●その他
なし

Core四半期利益の帰属

当社の株主持分 310億円 (A)

希薄化効果後

加重平均普通株式数 548百万株 (B)

Core EPS 56.52円 (A)/(B)

前年同期比 Core

損益の概要 1-3月実績

2018年第1四半期 連結決算概要

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュグループ

【億円】	2017年1-3月		2018年1-3月		増減	
	対売上収益		対売上収益			
売上収益	1,255		1,474		+219	+17.5%
製商品売上高	1,181		1,247		+66	+5.6%
タミフルを除く	1,108		1,163		+55	+5.0%
国内	851		845		△6	△0.7%
ロシュ向け輸出	213		274		+61	+28.6%
その他海外	43		45		+2	+4.7%
タミフル	74		84		+10	+13.5%
通常	61		83		+22	+36.1%
行政備蓄等	13		1		△12	△92.3%
ロイヤルティ及び その他の営業収入	73		227		+154	+211.0%
売上原価	△ 609	48.5%	△ 635	43.1%	△26	+4.3%
売上総利益	646	51.5%	839	56.9%	+193	+29.9%
経費計	△ 379	30.2%	△ 411	27.9%	△32	+8.4%
営業利益	267	21.3%	428	29.0%	+161	+60.3%
金融費用	△ 0		△ 0		0	0.0%
その他の金融収入(支出)	△ 3		△ 1		+2	△66.7%
その他の費用	△ 11		△ 6		+5	△45.5%
法人所得税	△ 63		△ 109		△46	+73.0%
四半期利益	189	15.1%	312	21.2%	+123	+65.1%
EPS (円)	34.22		56.52		+22.30	+65.2%

【主な増減】

- ロイヤルティ及びその他の営業収入 +154億円
長期収載品の譲渡に伴う
一時的な収入等
- その他の金融収入(支出) +2億円
為替差損益 +2億円
デリバティブ(為替予約)損益
△0億円
- その他の費用 +5億円
移転価格税制調整金

製商品原価率

2017年1-3月	2018年1-3月
51.6%	50.9%

期中市場平均レート

	2017年 1-3月	2018年 1-3月
1CHF	113.21円	114.33円
1EUR	121.09円	133.17円
1USD	113.69円	108.40円
1SGD	80.25円	82.16円

前年同期比

2018年第1四半期 連結決算概要

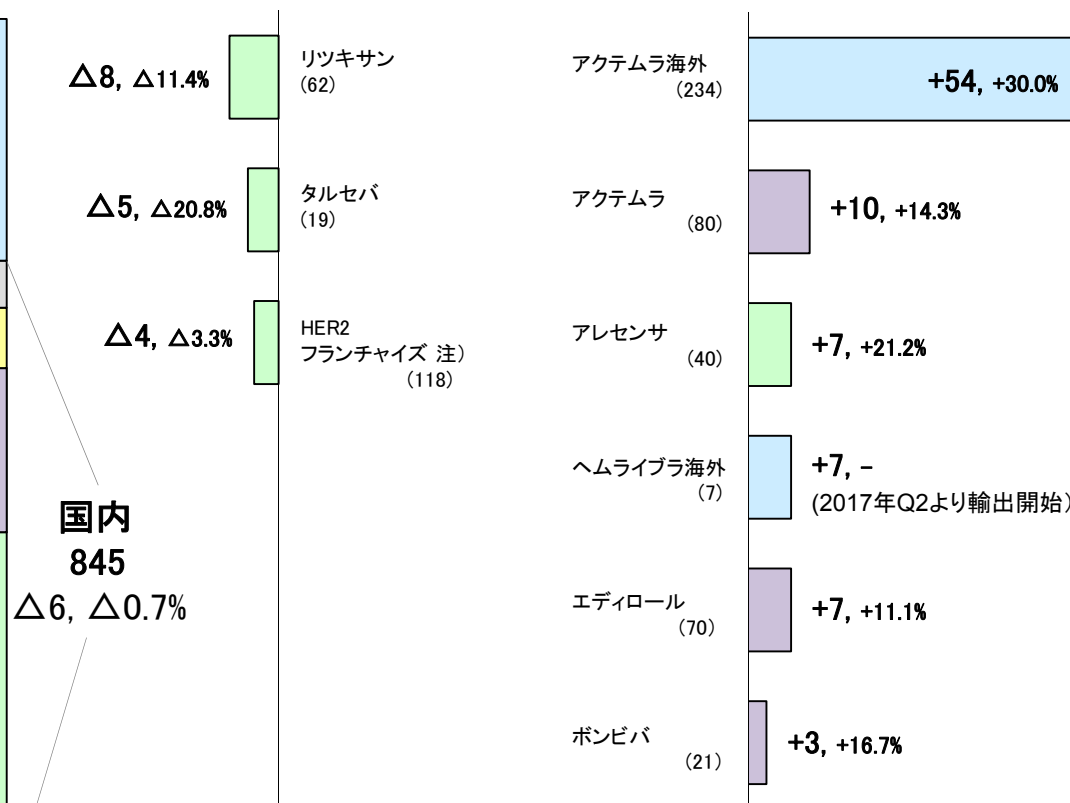
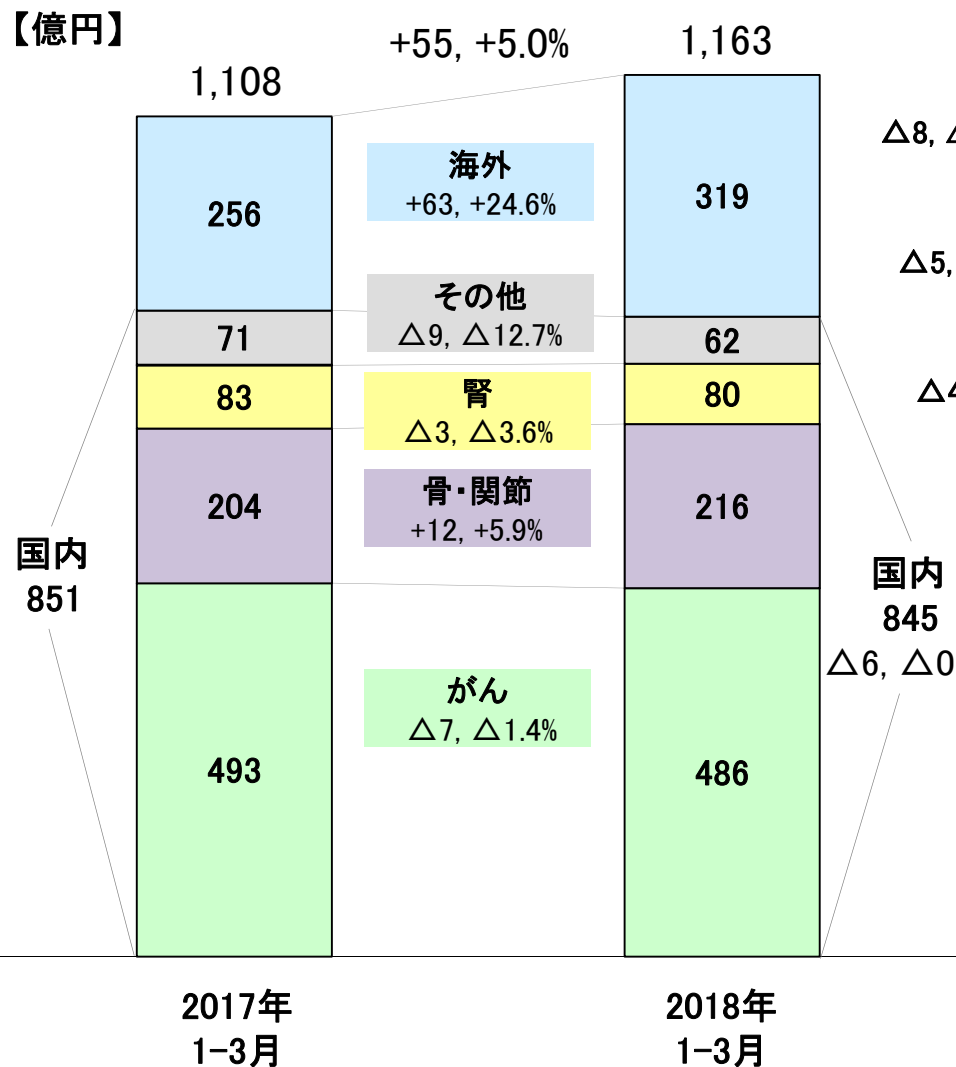
すべての革新は患者さんのために



製商品売上高(タミフルを除く)の増減内訳 1-3月実績

領域別売上高の比較

主な製商品売上高の増減



注) HER2フランチャイズ内訳

ハーセプチン (68)	△7	△9.3%
パージェタ (32)	+3	+10.3%
カドサイラ (18)	0	0.0%

()内は2018年実績 %は増減率



タミフル売上高の推移

【億円】	決算期											
	2013年		2014年		2015年		2016年		2017年		2018年	
	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-3月	
通常	82											
		19	70									
				58	67							
						15	73					
								47	63			
										56	83	
	101	(Δ1)	129	(+28)	82	(Δ47)	120	(+38)	119	(Δ1)	83	(+22)※1
行政 備蓄等	8	1	1	1	0	0	0	15	19	31	1	
	9	(Δ10)	2	(Δ7)	0	(Δ2)	15	(+15)	50	(+35)	1	(Δ12)※1
合計	90	20	71	59	67	15	73	62	82	87	84	
	110	(Δ10)	130	(+20)	82	(Δ48)	135	(+53)	169	(+34)	84	(+10)※1

シーズン (当年下期～翌年上期) 【※2 当年下期～翌年3月】	
2012年	106
2013年	90
2014年	126
2015年	87
2016年	110
2017年※2	139

()内は前期比

【※1 前年1-3月対比】

前年同期比 Core

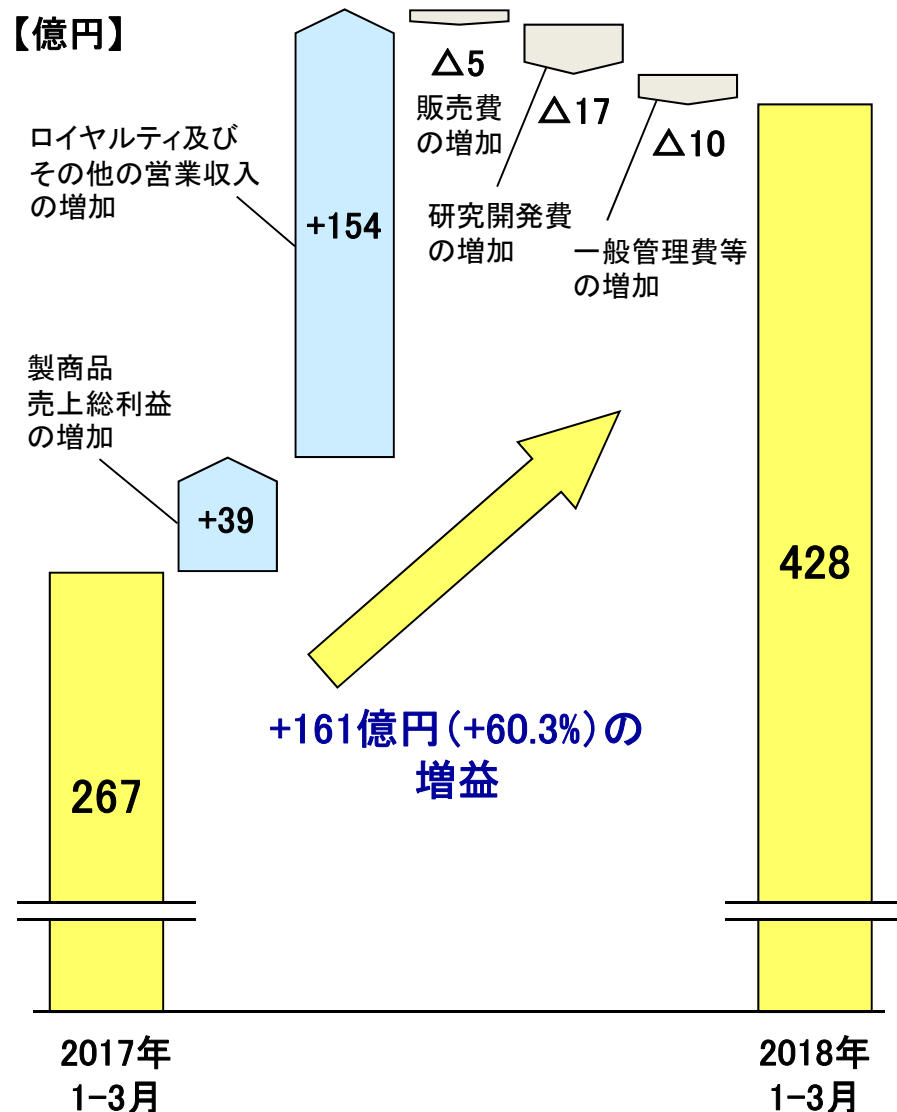
2018年第1四半期 連結決算概要

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュグループ

営業利益の増減内訳 1-3月実績



【億円】	2017年 1-3月	2018年 1-3月	増減
売上収益	1,255	1,474	+219
売上原価	△ 609	△ 635	△26
売上総利益	646	839	+193
うち製商品	573	612	+39
ロイヤルティ等	73	227	+154
販売費	△ 154	△ 159	△5
研究開発費	△ 192	△ 209	△17
一般管理費等	△ 33	△ 43	△10
営業利益	267	428	+161

- 製商品売上総利益の増加 +39億円
ロシュ向け輸出の増加や、為替影響等による製商品原価率の改善
- ロイヤルティ及びその他の営業収入の増加 +154億円
- 販売費の増加 △5億円
為替影響等
- 研究開発費の増加 △17億円
開発テーマの進展等
- 一般管理費等の増加 △10億円
法人事業税(外形標準課税)を含む諸経費の増加

予想比 Core

損益の進捗 1-3月実績

2018年第1四半期 連結決算概要

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュ グループ

【億円】	実績		期初公表	2017年 進捗率 *
	2018年 1-3月	2018年 1-12月	進捗率	
売上収益	1,474	5,415	27.2%	23.5%
製商品売上高	1,247	4,985	25.0%	23.7%
タミフルを除く	1,163	4,929	23.6%	23.0%
国内	845	3,748	22.5%	21.9%
ロシュ向け輸出	274	996	27.5%	27.9%
その他海外	45	185	24.3%	24.3%
タミフル	84	56	150.0%	43.8%
ロイヤルティ及び その他の営業収入	227	430	52.8%	20.9%
売上原価	△ 635	△ 2,520	25.2%	24.1%
売上総利益	839	2,895	29.0%	23.0%
経費計	△ 411	△ 1,815	22.6%	21.3%
営業利益	428	1,080	39.6%	25.9%
EPS (円)	56.52	147.00	38.4%	24.7%

製商品原価率

2018年1-3月 実績	2018年1-12月 期初公表
50.9%	50.6%

為替レート(円)

	2018年 1-3月実績*	2018年 期初想定
1CHF	114.33円	115.00円
1EUR	133.17円	133.00円
1USD	108.40円	111.00円
1SGD	82.16円	84.00円

*実績は期中市場平均

* 1-3月実績の通期実績に対する進捗率

予想比 Core

2018年第1四半期 連結決算概要

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュグループ

製商品売上高の進捗(タミフルを除く) 1-3月実績

【億円】	実績		通期予想	2017年 進捗率 * 1
	2018年 1-3月	2018年 1-12月	進捗率	
タミフルを除く製商品売上高	1,163	4,929	23.6%	23.0%
国内	845	3,748	22.5%	21.9%
がん領域	486	2,176	22.3%	21.8%
アバステン	210	920	22.8%	22.0%
HER2フランチャイズ	118	495	23.8%	22.1%
ハーセプチン	68	266	25.6%	22.3%
パージェタ	32	146	21.9%	21.3%
カドサイラ	18	83	21.7%	22.5%
リツキサン	62	234	26.5%	21.0%
アレセンサ	40	227	17.6%	19.8%
ゼローダ	28	126	22.2%	23.0%
タルセバ	19	98	19.4%	22.9%
テセントリク * 2	-	31	-	-
アラグリオ	1	7	14.3%	-
ゼルボラフ	0	1	0.0%	0.0%
骨・関節領域	216	971	22.2%	21.9%
アクテムラ	80	352	22.7%	21.1%
エディロール	70	317	22.1%	21.3%
ボンビバ	21	99	21.2%	20.7%
スベニール	17	83	20.5%	21.6%

【億円】	実績		通期予想	2017年 進捗率 * 1
	2018年 1-3月	2018年 1-12月	進捗率	
腎領域	80	353	22.7%	21.1%
ミルセラ	49	235	20.9%	20.5%
オキサロール	17	58	29.3%	20.7%
その他領域	62	248	25.0%	23.7%
セルセプト	20	85	23.5%	21.3%
海外	319	1,181	27.0%	27.2%
アクテムラ	234	730	32.1%	29.6%
うちロシュ向け輸出	230	714	32.2%	29.8%
アレセンサ	38	264	14.4%	25.9%
うちロシュ向け輸出	37	263	14.1%	25.9%
ノイトロジン	30	120	25.0%	23.6%
ヘムライブラ	7	20	35.0%	-

* 1 1-3月実績の通期実績に対する進捗率

* 2 テセントリクの予想値は4月24日公表

予想比 Core

為替変動の影響

2018年第1四半期 連結決算概要

すべての革新は患者さんのために



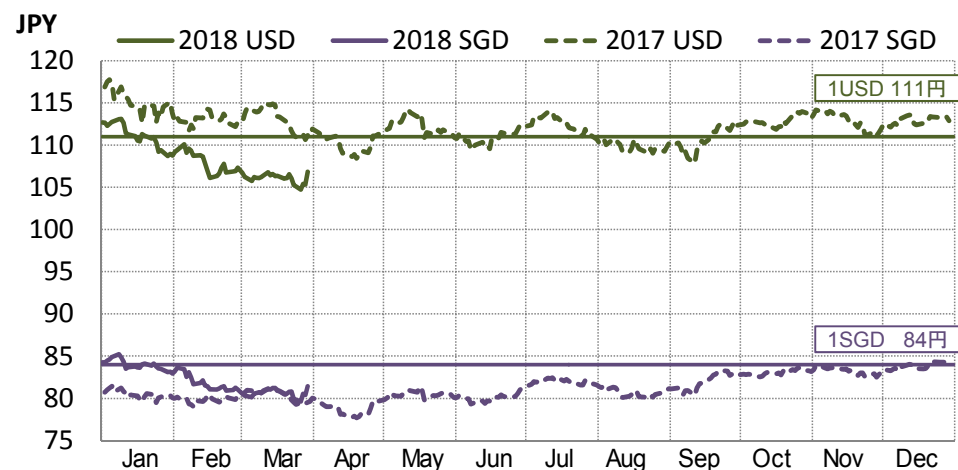
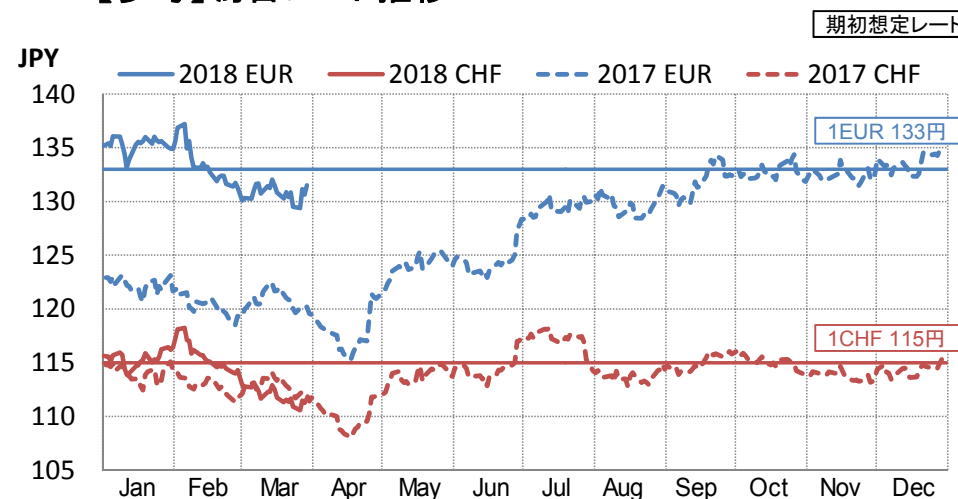
Roche ロシュ グループ

	2018年1-3月 想定レート対比影響額	
売上収益	△1億円	
	製商品売上高	△0億円
	ロイヤルティ及び その他の営業収入	△0億円
売上原価・経費	売上原価	+1億円
	経費	+0億円
営業利益	△0億円	

実績/想定レート*	2017年 1-3月実績	2018年 期初想定	2018年 1-3月実績
1CHF	113.21円	115.00円	114.33円
1EUR	121.09円	133.00円	133.17円
1USD	113.69円	111.00円	108.40円
1SGD	80.25円	84.00円	82.16円

*実績は期中市場平均

【参考】為替レート推移



開発パイプラインの状況

中外製薬株式会社
プロジェクト・ライフサイクルマネジメントユニット
R&Dポートフォリオ部長
広瀬 稔

2018.4.24

開発パイプラインの状況

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュグループ

開発パイプライン (1)

(2018年4月24日現在)

	Phase I	Phase II	Phase III		Filed
がん	<p>CKI27 (国内 / 海外) - 固形がん</p> <p>RG7604 / tasisib - 固形がん</p> <p>GC33 (RG7686) / codrituzumab - 肝細胞がん★</p> <p>ERY974 (海外) - 固形がん</p> <p>RG7421 / cobimetinib - 固形がん</p> <p>RG7802 - 固形がん★</p> <p>RG7828 - 血液がん★</p>		<p>RG3502 / Kadcyla - 乳がん (アジュバント)</p> <p>RG435 / Avastin - 腎細胞がん</p> <p>RG7440 / ipatasertib - 前立腺がん - 乳がん</p> <p>RG7596 / polatuzumab vedotin - びまん性大細胞型 B細胞リンパ腫</p>	<p>RG7446 / Tecentriq - 非小細胞肺癌 (アジュバント) - 小細胞肺癌 - 尿路上皮がん - 筋層浸潤尿路上皮がん (アジュバント) - 腎細胞がん - 腎細胞がん(アジュバント) - 乳がん - 卵巣がん - 前立腺がん - 肝細胞がん★</p>	<p>GA101 (RG7159) / obinutuzumab - 濾胞性リンパ腫</p> <p>RG1273 / Perjeta - 乳がん (アジュバント)</p> <p>RG7446 / Tecentriq - 非小細胞肺癌 [一次治療] ★</p>
骨・関節			<p>NRD101 / Suvenyl (中国) - 変形性膝関節症 / 肩関節周囲炎</p>		<p>ED-71 / Ediol (中国) - 骨粗鬆症★</p>
腎	<p>EOS789 (国内 / 海外) - 高リン血症</p>				

各相の臨床試験は、原則として投与の開始をもって試験開始としています

オレンジ: 自社品

★: 2018/2/1からの変更点

★: 中外主導の国際共同治験

開発パイプラインの状況

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュグループ

開発パイプライン (2)

(2018年4月24日現在)

	Phase I	Phase II	Phase III	Filed
自己免疫疾患	RG7845 - 関節リウマチ		MRA / Actemra - 全身性強皮症 SA237 (RG6168) / satralizumab - 視神経脊髄炎 ★	
神経疾患	RG7935 - パーキンソン病 ★	RG7916 - 脊髄性筋萎縮症	RG1450 / gantenerumab - アルツハイマー病 RG7412 / crenezumab - アルツハイマー病 RG6206 - デュシエンヌ型筋ジストロフィー (P II / III)	
その他	PCO371 (海外) - 副甲状腺機能低下症 RG7716 - 滲出型加齢黄斑変性 / 糖尿病黄斑浮腫 AMY109 - 子宮内膜症 ★	CIM331 / nemolizumab ※ - 透析そう痒症 URC102 (韓国) - 痛風 SKY59 / RG6107 - 発作性夜間ヘモグロビン尿症 (PI/II)	ACE910 (RG6013) / Hemlibra - 血友病A [非インヒビター]	

各相の臨床試験は、原則として投与の開始をもって試験開始としています
 ※アトピー性皮膚炎は導出先にて開発 (海外: Galderma社、国内: マルホ株式会社)

オレンジ: 自社品

★: 2018/2/1からの変更点

★: 中外主導の国際共同治験

開発パイプラインの状況

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュグループ

開発の状況 (1)

導入品

RG7446 / テセントリク®

切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌※

2018年4月 発売

切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌に対する
他の抗悪性腫瘍剤との併用（一次治療）

2018年3月 申請

肝細胞がん

2018年4月 P3試験開始



開発の状況 (2)

自社品

ACE910 / ヘムライブラ®

血液凝固第VIII因子に対するインヒビターを保有する
血友病Aにおける出血傾向の抑制

2018年3月 承認(国内)

2018年2月 承認(欧州)

血友病A(インヒビター非保有)

米国FDAよりBreakthrough Therapy指定

自社品

ED-71 / エディロール®

骨粗鬆症

2018年2月 申請(中国)

開発パイプラインの状況

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュグループ

開発の状況 (3)

導入品

RG7802 (CEA TCB)

固形がん

2018年1月 P1試験開始

導入品

RG7828 (CD20 TDB)

血液がん

2018年3月 P1試験開始

導入品

RG7935 (抗 α -シヌクレイン抗体)

パーキンソン病

2018年2月 P1試験開始

開発パイプラインの状況

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュグループ

開発の状況 (4)

自社品

AMY109

子宮内膜症

2018年2月 P1試験開始

導入品

RG3637 / レブリキズマブ

特発性肺線維症 開発中止

FMI
事業

ファウンデーション・メディシン社製品の国内事業展開

日本国内における独占的商業化権に関する

サブライセンス契約を締結

2018年3月 「FoundationOne CDx™」申請



試験成績／学会発表 (1)

導入品

RG7446 / テセントリク®

非小細胞肺癌1次治療 国際共同P3 (IMpower150) 試験

- 2018年3月 主要評価項目(OS)達成
 - アバスチンと化学療法の併用レジメンと比較し、テセントリクの上乗せにより、主要評価項目の一つである全生存期間(OS)を延長
- 2018年4月 PFSの詳細データを発表
 - American Association for Cancer Research (AACR)の年次総会にて、アバスチンと化学療法の併用レジメンに対する、テセントリク上乗せによる無増悪生存期間(PFS)のサブグループ解析結果を発表



試験成績／学会発表 (2)

導入品

RG7446 / テセントリク®

非小細胞肺癌1次治療 国際共同P3 (IMpower131) 試験

- 2018年3月 主要評価項目(PFS)達成
 - 化学療法と比較し、テセントリクの上乗せにより、主要評価項目の一つである無増悪生存期間(PFS)を延長

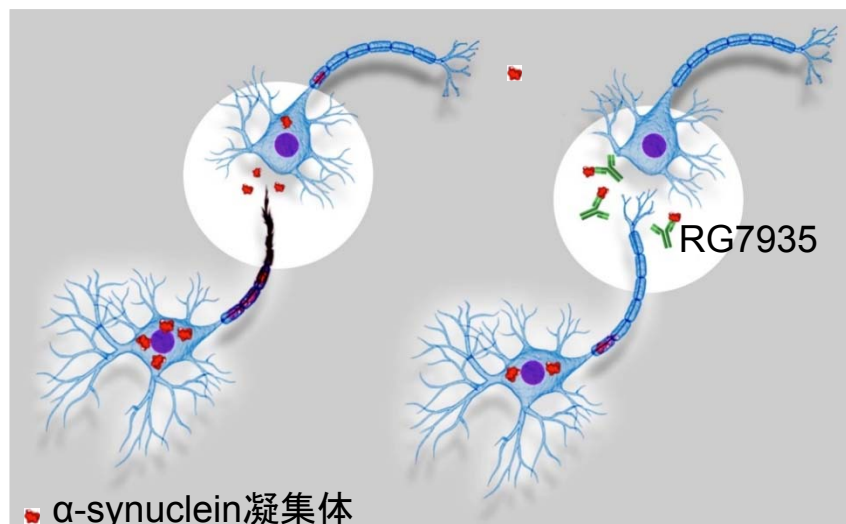
腎細胞がん1次治療 国際共同P3(IMmotion151)試験

- 2018年2月 詳細データを発表
 - テセントリクとアバスチンの併用療法が、スニチニブ単剤療法と比較し、病勢進行または死亡リスクを26%低下 (PD-L1発現 \geq 1%、主治医評価)

RG7935 (抗 α -シヌクレイン抗体)と作用機序



Roche ロシュグループ



出典: Prothena社資料

- パーキンソン病は、様々な運動・非運動症状を伴う進行性の神経変性疾病
- 神経毒性のある α -synuclein凝集体が細胞間を伝播し、神経細胞死が脳内で広範囲に拡大する
- RG7935は α -synuclein凝集体に特異的に結合するモノクローナルIgG1抗体
- RG7935は α -synuclein凝集体に結合して除去し、神経細胞を保護することで、病気の進行を遅延・抑制することが期待される

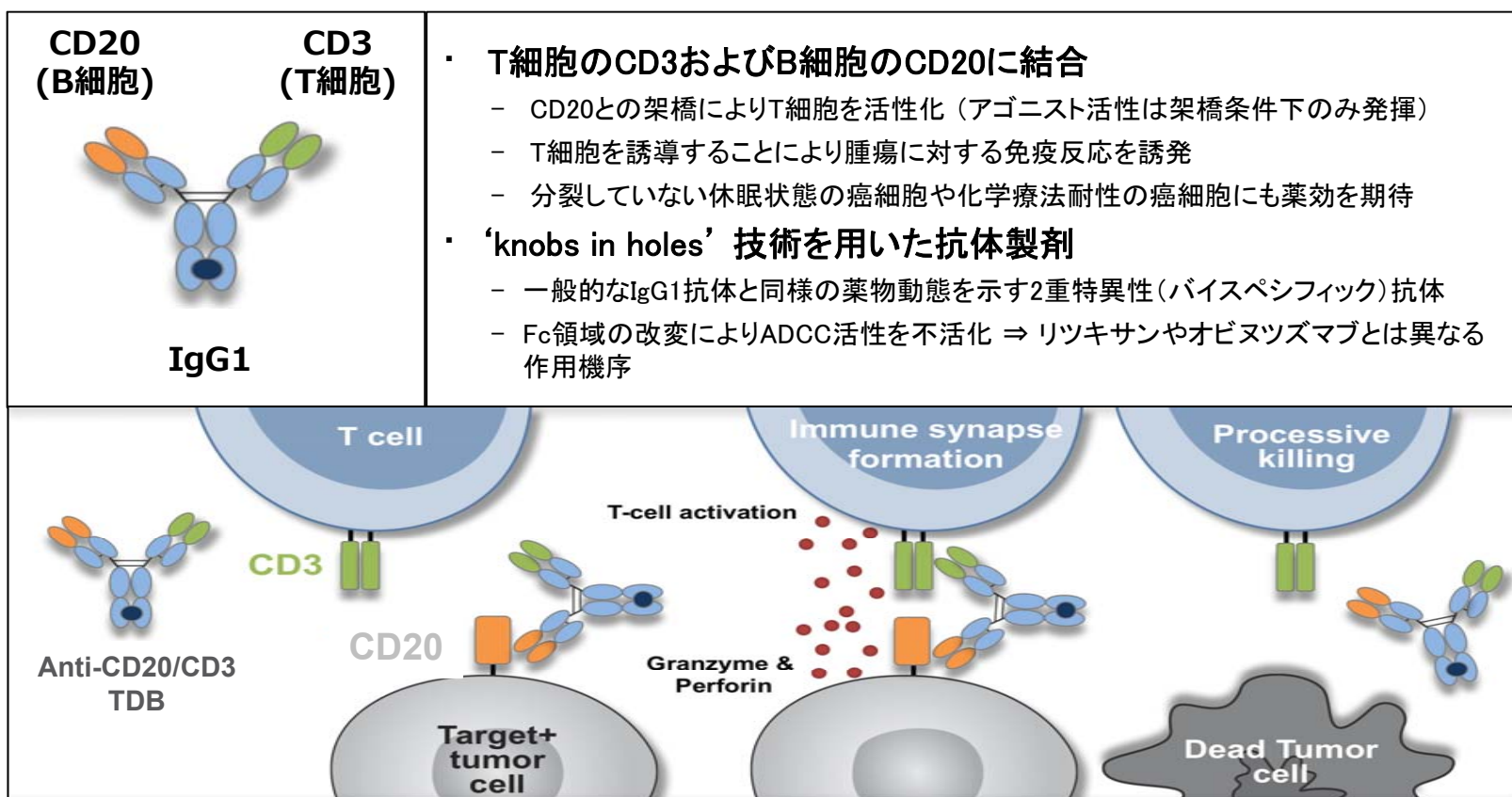
参考文献:

Chan DKY, et al. Transl Neurodegener. 2017
Schenk DB, et al. Mov Disord. 2017



RG7828 (CD20 TDB)と作用機序

Anti-CD20/CD3 T-cell Dependent Bispecific (TDB) antibody
 T細胞を介した高い反応特異性と強力なB細胞傷害活性を有する抗体製剤



出典: Roche社資料

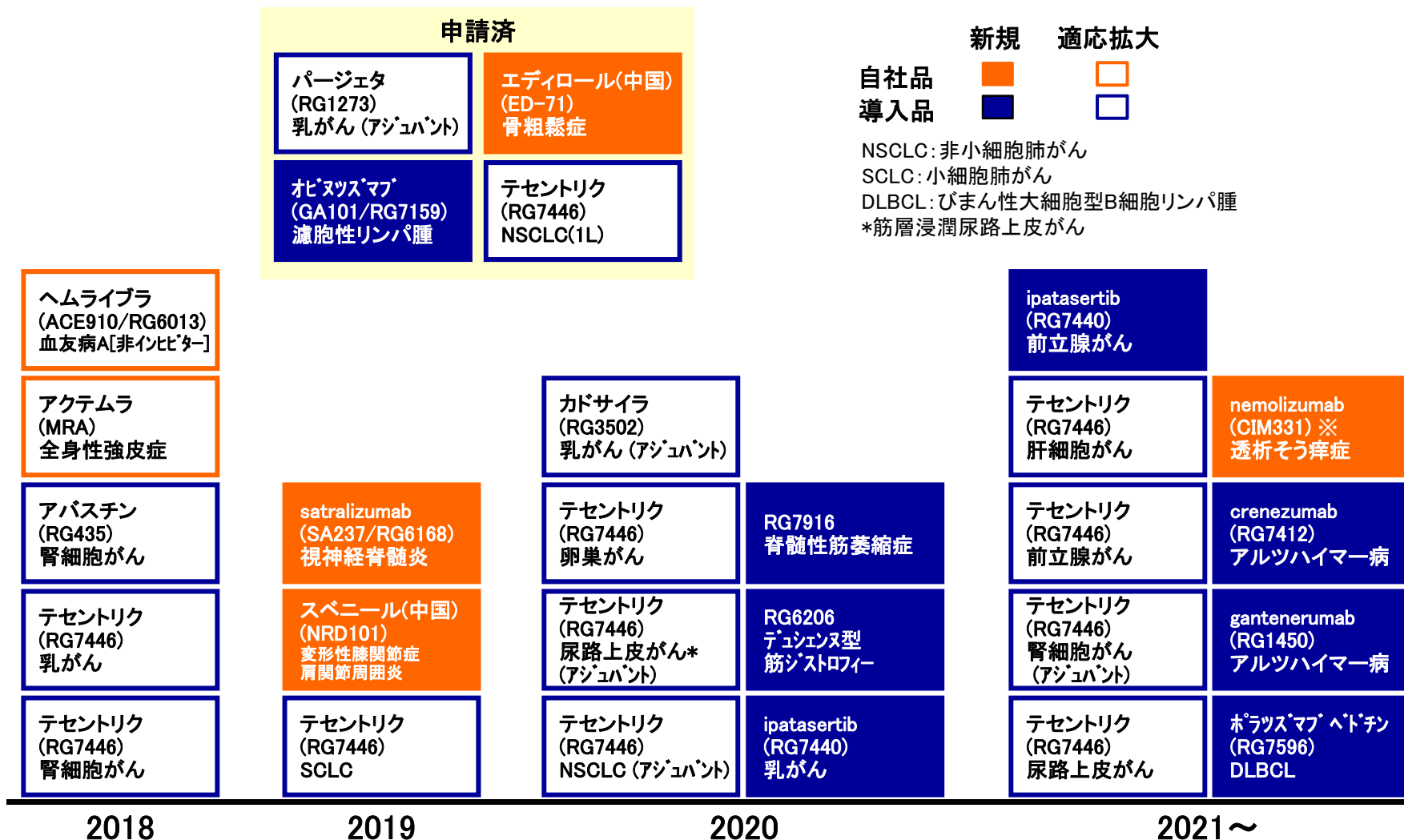
開発パイプラインの状況

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュグループ

今後の申請予定 (PoC取得済開発品・製品)



新規 適用拡大
 自社品 導入品

NSCLC: 非小細胞肺がん
 SCLC: 小細胞肺がん
 DLBCL: びまん性大細胞型B細胞リンパ腫
 *筋層浸潤尿路上皮がん

※アトピー性皮膚炎は導出先にて開発 (海外: Galderma社、国内: マルホ株式会社)

お問い合わせ先：広報IR部

報道関係者の皆様：
メディアリレーションズグループ

Tel : 03-3273-0881

e-mail : pr@chugai-pharm.co.jp

担当：清水、荒木、三義、山田

投資家の皆様：
インベスターリレーションズグループ

Tel : 03-3273-0554

e-mail : ir@chugai-pharm.co.jp

担当：笹井、櫻井、島村、吉村